



「ひとりになれる」～覚悟をもって、自分で考え、決断し、行動する～

街には今年もつつじの花が美しく咲いています。湘南ライフタウンが一年間で最も華やかに見える季節となりました。新型コロナウイルス感染拡大が懸念される中でも、いつもどおりに咲き誇るつつじを見ると、改めて自然のパワーを感じます。

「もう一回くらい投げさせてやればいいじゃないか。」「二度と生まれられないような記録なのに」そんな意見がSNS上にも多く見られた17日のプロ野球ロッテ対日本ハム戦。4/10のオリックス戦でプロ野球史上16人目、28年ぶりの完全試合を達成したロッテ佐々木朗希投手が、8回まで1人の走者も出さない完璧なピッチングを見せていましたが、この回限りでマウンドを降りたことが報道等で大きな話題となりました。ロッテの井口監督のこの決断については、賛否両論あります。前述のような反対意見もあれば、「球界の宝」の故障リスクを最小限にする配慮に対して「立派な決断」と称賛する人もいます。

実はこの佐々木投手の活躍でもう一人の監督が下した決断が「英断」であったと再評価されています。それは彼が高校時代、甲子園行きが懸かった試合で連投回避のため佐々木投手を登板させなかった大船渡高校野球部監督です。しかし、当時のこの判断は、決して単純な“美談”として片づけられるほど、生易しいものではありませんでした。高校には多くのクレームが寄せられ、監督の交代を求める動きがあったそうです。それが関係しているかわかりませんが、当時の監督は、昨年の夏をもって辞めました。今更ながら、高校卒業からわずか2年あまりで達成した佐々木投手の完全試合は、国民的論争となった監督のあの日の決断が正しかったことを証明したとも言えるかもしれません。もちろん、すべての球児が抱く甲子園の夢よりも佐々木投手の将来を優先すべきなのか、という意見もあると思います。私はこの決断に対して、どちらが正しいかを述べるつもりもありませんし、一概にどちらが正しいとも言えないのではないかと思います。ただ言えるのは、甲子園出場を目指して、佐々木投手に連投させるという決断をしたほうが周囲からの反対も少なかったかと思います。しかし、当時の監督は敢えて“いばらの道”を選びました。判断に迷いながらも、熟慮に熟慮を重ね、自分が出した決断を正しいと信じて覚悟をもって貫き通した監督の姿勢は称賛されるべきものではないでしょうか。

「“ひとりになれる”とは、周囲に流されることなく、自分の頭で考え、判断し、自分らしく行動していく力です。“ひとりになれる”を実現するためには強い意志が必要です。人と違っていても自分の信じる道を進んでいくための“たくましさ”を身に付けてください。」という言葉は私は入学式でも述べましたが、今はこのことを子どもたちにも意識して欲しいと思うと同時に私自身もそうなりたいと強く思っています。（もちろん、人の意見に耳を傾けることなく、“ひとりよがり”になるのは避けなければなりません・・・）

修学旅行保護者説明会・教育課程説明会・部活動保護者会を開催しました

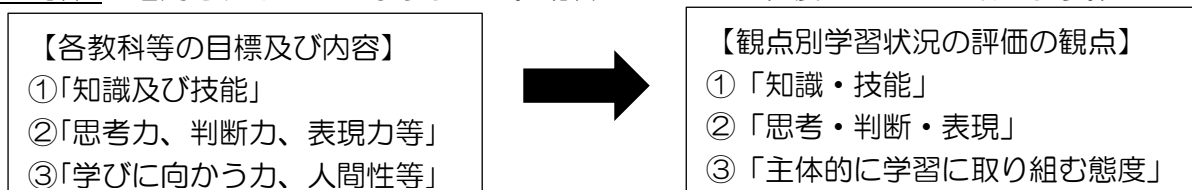
①修学旅行保護者説明会

中学校生活の思い出の一つともなる修学旅行が今年度、6/19（日）～21（火）に予定されています。新型コロナウイルス感染拡大のため、2年続けて当初予定されていた日程では実施できませんでしたので（一昨年度は9月、昨年度は10月に実施）、今年こそは予定通りに実施できたらと思っています。現在、藤沢市のガイドラインでは「緊急事態宣言期間中においても、旅行先地域が、学校における団体旅行を受け入れる状態にある場合、感染症防止対策を十分に講じることで修学旅行の実施を可能とする。」としています。もちろん、緊急事態宣言期間中の場

合には市教委を始め、さまざまな関係機関とも連携を図りながら、実施について検討いたします。感染対策に万全を期し、思い出に残る楽しい修学旅行となるよう、学校でも指導・対応して参りますので、ご家庭でもお子様はもちろんですが、ご家族の体調管理にもご配慮いただきますよう、ご理解・ご協力、何卒よろしくお願いいたします。

②教育課程説明会

昨年度、中学校では新学習指導要領が全面実施となりました。今回の改訂の中で特に重要なポイントが各教科等の目標及び内容と観点別学習状況の評価の観点を次のように整理したことです。4/26の記者発表で明らかになりましたが、令和6年度（現2年生）から神奈川県公立高校の共通選抜における第2次選考において、各教科の第3学年の「主体的に学習に取り組む態度」の評価が活用されることになりました。（詳細については、後日お知らせ致します。）



本校でも初回の授業等で子どもたちには教科担任から評価方法については説明しておりますが、私たちもこの機会に改めて評価の妥当性・信頼性を高める取り組みを推進して参ります。

③部活動保護者会

生徒にとって望ましい部活動を持続していくため、部活動の指導等に意欲を有する地域人材等の協力を得て、令和5年度から段階的な地域移行が計画されています。それだけ部活動の教育的意義は大きく、技術面だけでなく大人になるための様々な資質・能力を体得することができます。1年生も仮入部期間が終わり、本入部となりました。1年生にとってしばらくは、放課後2時間ほどの練習は、体力的にも厳しいと思いますので、体調の管理にご留意ください。今後も本校では部活動基本方針に基づき、子どもたちが目標に向かって意欲的な活動ができるような指導を心がけて参ります。

家庭訪問、ご協力ありがとうございました

4月21日から5日間、家庭訪問が行われました。コロナ禍の中、ご協力いただき、心より感謝いたします。おかげさまで有意義な話し合いができたようです。家庭訪問の主な目的は、①緊急時に備え、担任が家の場所を確認すること、②ご家庭の教育方針や生徒の家庭での様子を把握すること、③地域の環境を知ることです。普段子どもたちが生活している家庭や地域を知ることが生徒理解においても大変重要です。今回、訪問によって得られた地域の情報等も全職員で共有するよう努めて参ります。ありがとうございました。

より良い学校生活を目指して～全校評議委員会～

4/19（火）に第1回全校評議委員会が開催されました。生徒会本部からは次のようなスローガンや基本方針の説明がありました。

【スローガン】「*Make Happiness* ～一輪の思いやりは誇りの花束へ～」

【いじめ撲滅に対するスローガン】「*No more* いじめ ～その言葉で全てをうばう～」

【生徒会基本方針】①過ごしやすい日常のために→レクなどの企画、運営

②滝中をより良くするための意見を大切にします→意見箱の設置など

③身だしなみを整え、気持ちを引き締めよう

生徒会本部役員、各種委員会の委員長、各クラスの評議委員による活発な意見交換が行われ、今年度の生徒会活動の活躍を十分に予感させる内容でした。学校生活を自分たちの力でより良くしていくという気持ちで1年間、全校評議委員会に臨んでもらいたいと思っています。

*今年度の体育祭については、感染拡大防止のため、当日は3年生の保護者のみ、予行は1, 2年生の保護者のみ参観を可と致します。詳細につきましては、4/28に配付したプリントをご参照ください。